

2018年5月30日



スターティアホールディングス株式会社
(東証一部 3393)

2018年3月期 決算説明資料

本資料に掲載されている業績見通し等に関する情報は、資料作成時点において合理的に入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は様々な要素によってこれらの業績見通しと大きく異なる可能性があることをご了承ください。

2018年3月期 決算説明ハイライト

過去最高の売上高を達成。

人件費および広告費の効率的な資源配分により、営業利益は業績予想を上回る着地。
繰延税金資産の計上および投資有価証券の売却益が寄与。当期純利益は、大幅増益。

ITインフラ関連事業のMFP(マルチファンクションプリンター)、NW(ネットワーク)機器関連が
全社成長を牽引

ストック収益は堅調に推移。とくにデジタルマーケティング関連事業のウェブプロモーション
に関するコンサルティングや「BowNow」の有料プラン、「COCOAR」の受注が好調。

目次

1.	2018年3月期連結決算総括	…P3
2.	セグメント情報総括	…P5
3.	その他	
	・財務指標(四半期) 損益計算書	…P11
	・ニュースリリース一覧	…P12
	・連結貸借対照表	…P13
	・連結損益計算書	…P14
4.	2019年3月期見通し	…P15

連結決算総括

過去最高の売上高を達成。人件費および広告費の効率的な資源配分により、営業利益は業績予想を上回る着地。

連 結	売 上 高:	11,058百万円
	営 業 利 益:	358百万円

セグメント別

デジタルマーケティング
関連事業

売 上 高:	1,835百万円
セグメント利益:	101百万円

ITインフラ
関連事業

売 上 高:	9,221百万円
セグメント利益:	305百万円

その他事業
(コーポレートベンチャーキャピタル事業)

売 上 高:	1百万円
セグメント利益:	△45百万円

連結決算総括：損益推移表

繰延税金資産の計上および投資有価証券の売却益が寄与。当期純利益は、大幅増益。
(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上高	8,682	10,171	10,282	11,058
営業利益	747	503	265	358
経常利益	878	544	285	376
親会社株主に帰属する当期純利益	592	253	5	613

売上高推移

(単位:百万円)



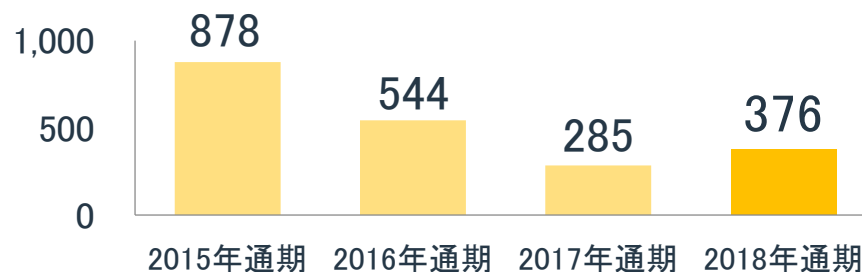
営業利益推移

(単位:百万円)



経常利益推移

(単位:百万円)



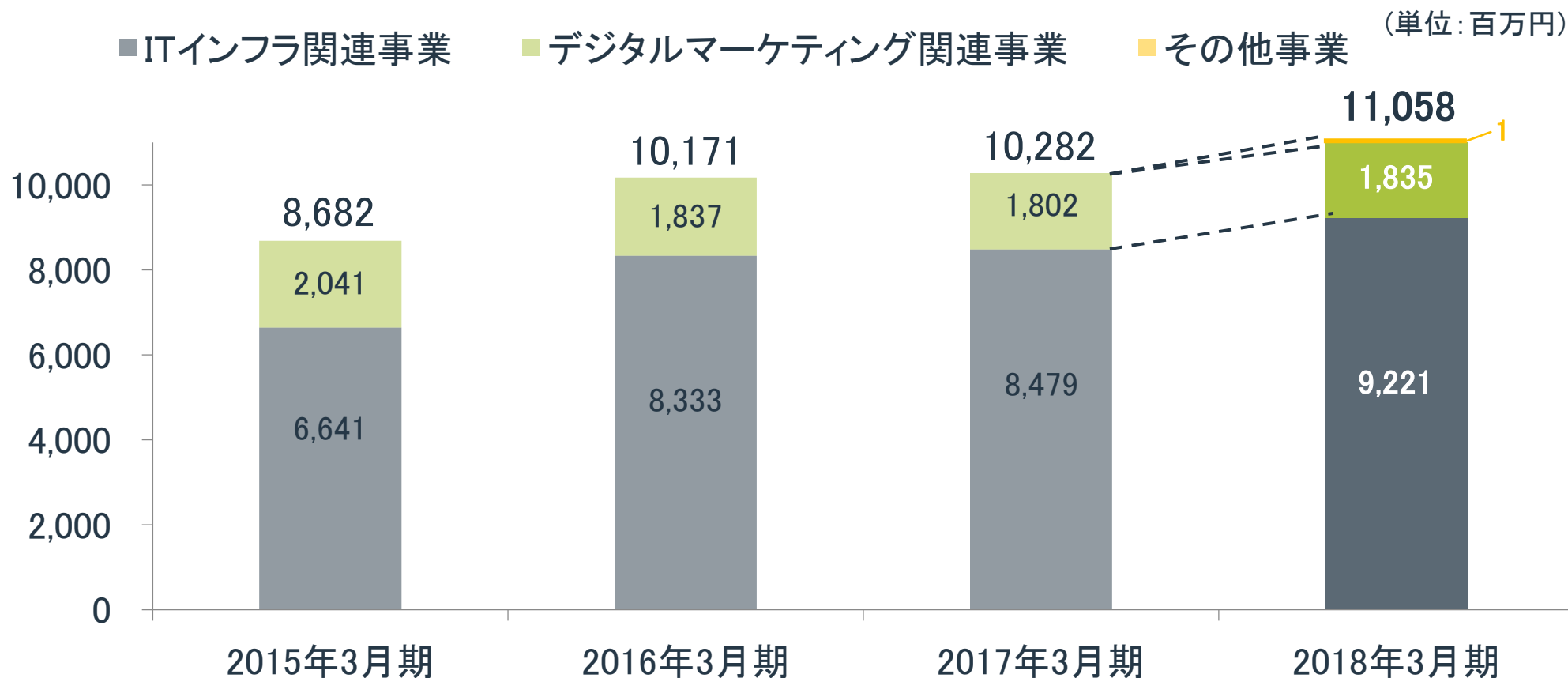
当期純利益推移

(単位:百万円)



セグメント情報総括: セグメント別売上高(実績)

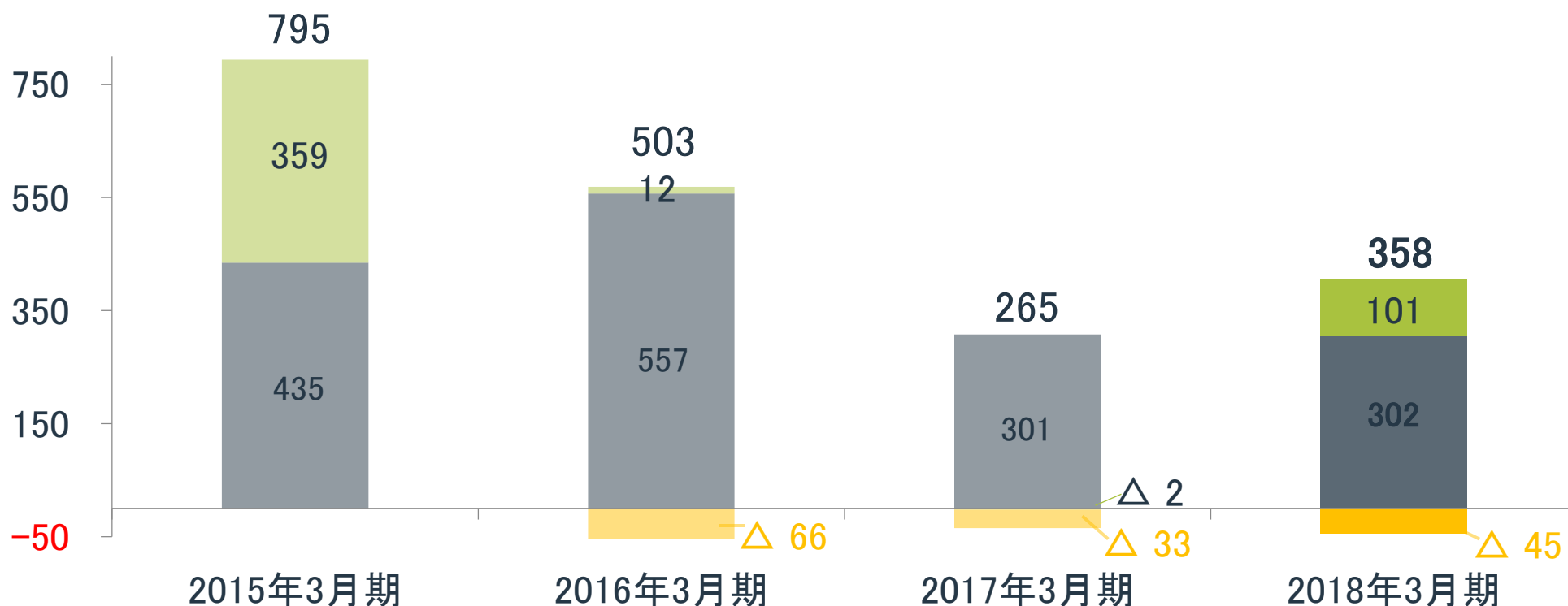
ITインフラ関連事業のMFP(マルチファンクションプリンター)、NW(ネットワーク)機器関連が
全社成長を牽引



セグメント情報総括: セグメント別セグメント利益(実績)

デジタルマーケティング関連事業及びITインフラ関連事業ともに、人件費および広告費の効率的な資源配分を行いコスト削減を実現

■ ITインフラ関連事業 ■ デジタルマーケティング関連事業 ■ その他事業 (単位: 百万円)

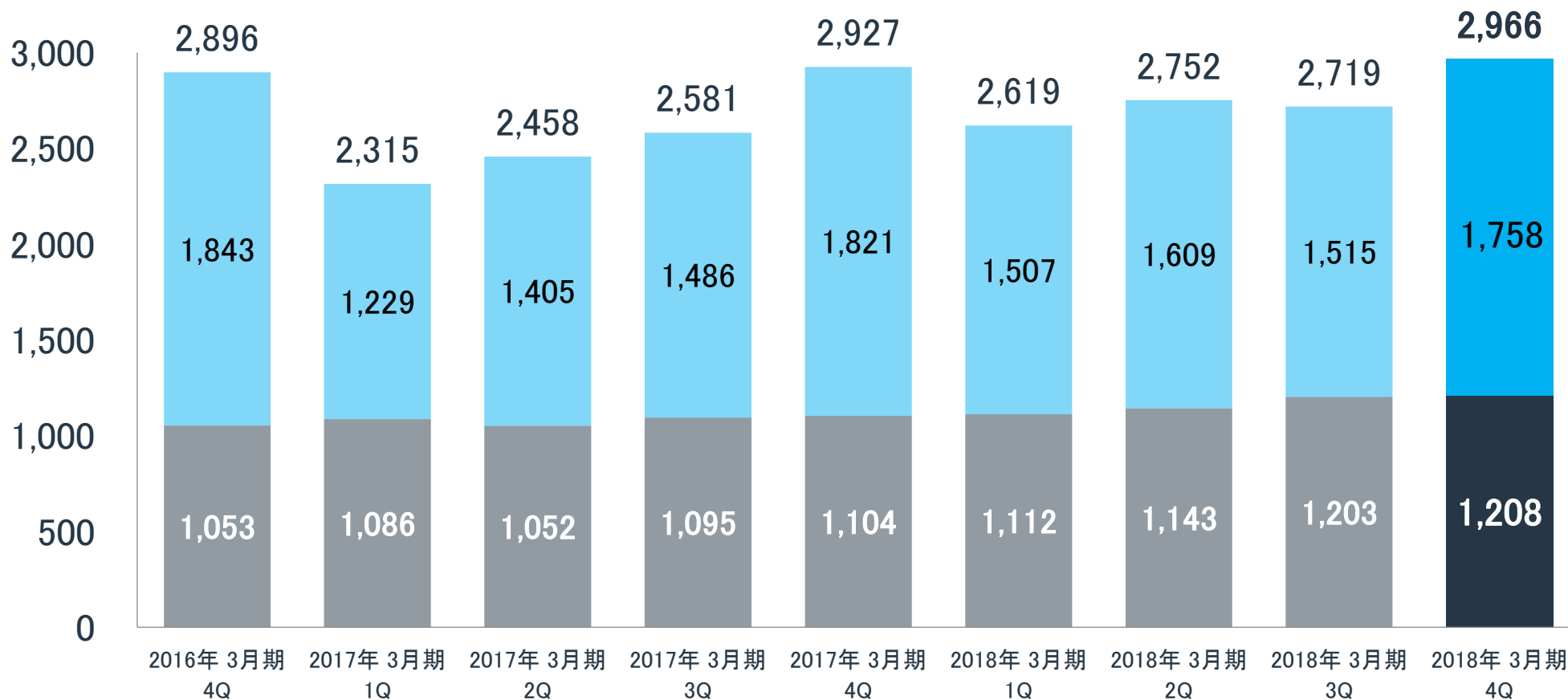


セグメント情報総括：ストック＆フロー売上（四半期）

ストック収益は堅調に推移。過去最高の売上高を達成。

（単位：百万円）

■ スtock売上 ■ フロー売上

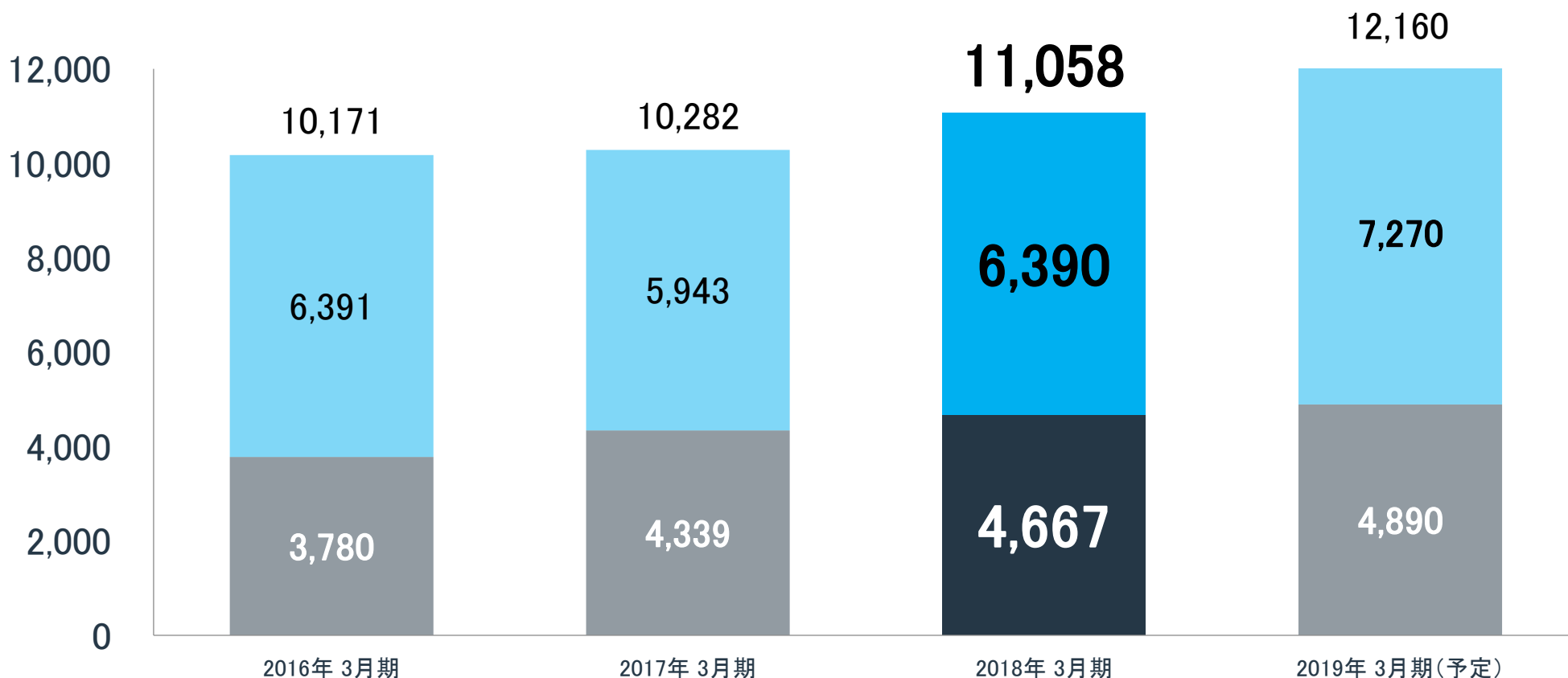


セグメント情報総括：ストック＆フロー売上（通期）

ストック収益は堅調に推移。過去最高の売上高を達成。

■ ストック売上 ■ フロー売上

（単位：百万円）

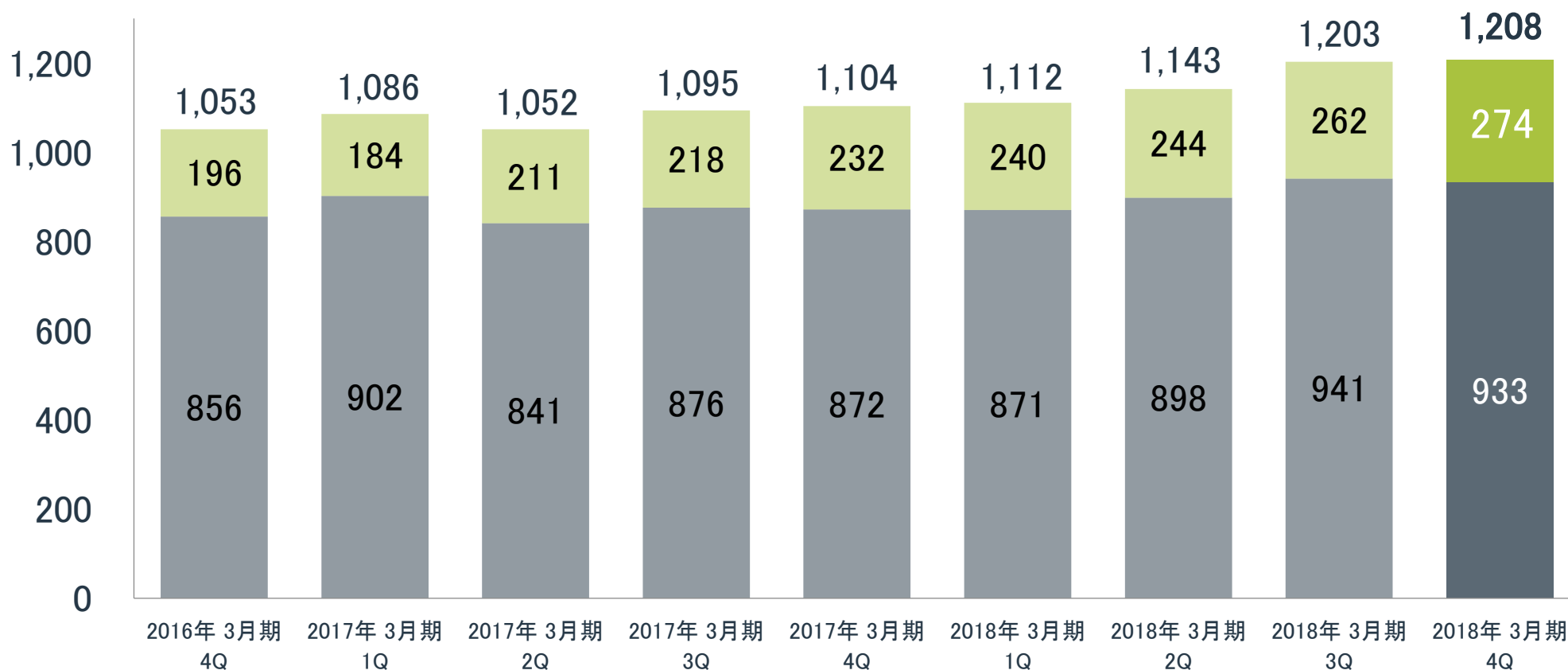


セグメント情報総括：セグメント別 ストック売上高 推移表(四半期)

ストック収益は堅調に推移。とくにデジタルマーケティング関連事業のウェブプロモーションに関するコンサルティングや「BowNow」の有料プラン、「COCOAR」の受注が好調。

(単位：百万円)

■ ITインフラ関連事業 ■ デジタルマーケティング関連事業

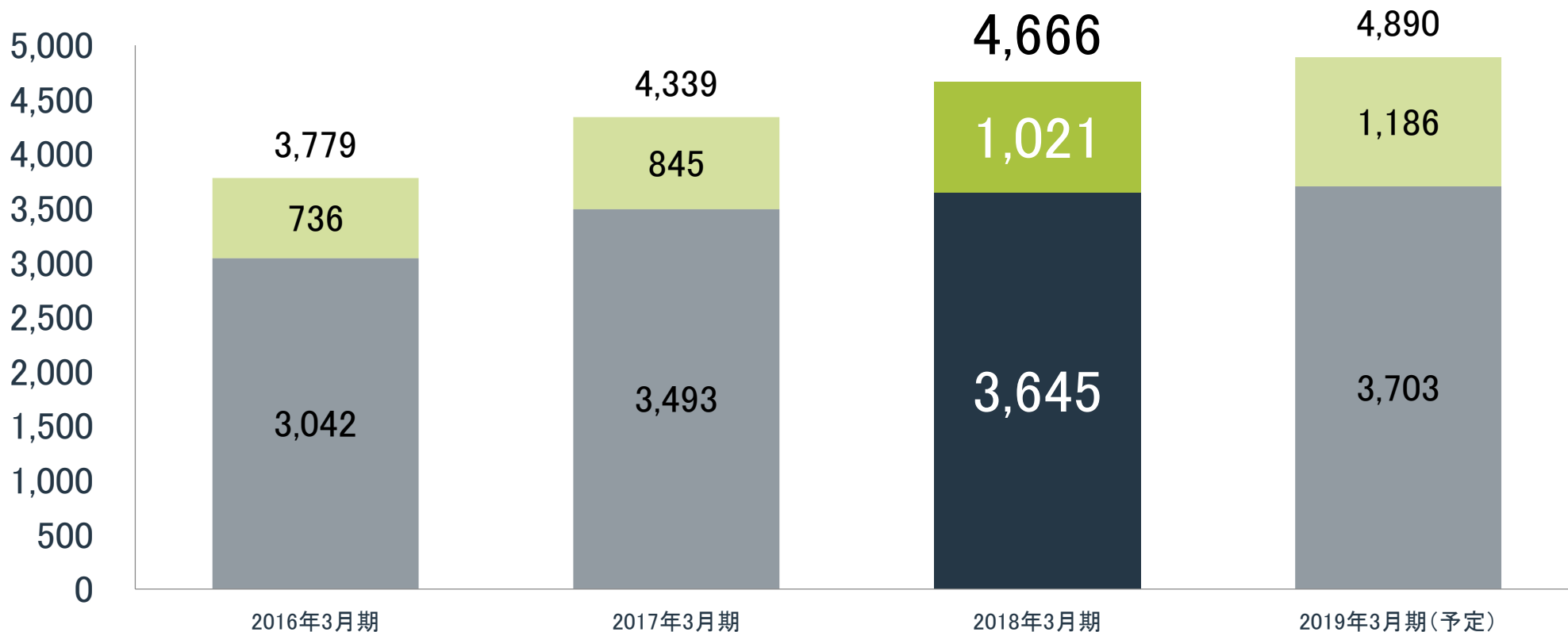


セグメント情報総括：セグメント別 ストック売上高 推移表(通期)

デジタルマーケティング関連事業およびITインフラ関連事業、共にストックが堅調に積み上がる。

(単位：百万円)

■ ITインフラ関連事業 ■ デジタルマーケティング関連事業

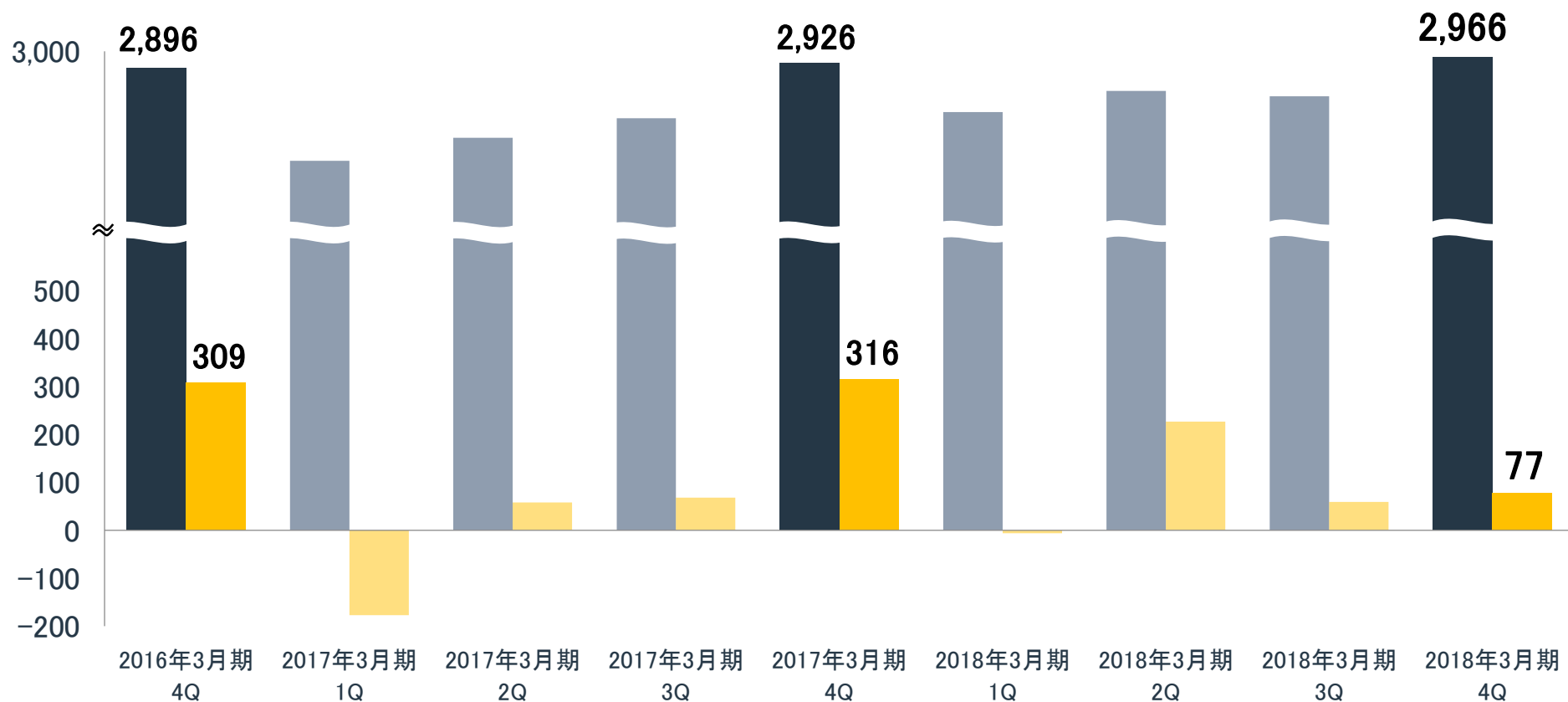


その他:財務指標(四半期) 損益計算書

売上高は堅調に推移。営業利益は、過去と比較して減益となった。

■ 売上高 ■ 営業利益

(単位:百万円)



その他:ニュースリリース一覧(2018年1月～3月)

- 2018.03.28 AR制作ソフト「COCOAR」、4月2日(月)機能拡充！ マーカー認識率やコンテンツのランダム表示、韓国語対応も
- 2018.02.28 全国の「Afternoon Tea TEAROOM」にARアプリ「COCOAR2」採用！ 人気イラストレーターSHOGO SEKINEさんデザインの桜モチーフのARを体験できる
- 2018.02.28 カケハシ スカイソリューションズと合併により新会社設立 海外IT人材の育成・コンサルティング事業 Worktus 株式会社 2018年4月設立予定
- 2018.02.06 AR制作ソフト「COCOAR」、2月6日(火)機能拡充！ Unity対応で、動的3Dコンテンツの表示が可能に ～リアルゲームプラットフォームを目指す～
- 2018.01.31 人手不足、歯科技工士の職人技をARで支援！ ARアプリ「COCOAR2」を用いて社内教育の効率化
- 2018.01.30 電子ブック制作ソフト「ActiBook」シリーズから マイクロビジネスにも対応する「ActiBook One」が2月1日(木)誕生！ ～紙媒体の弱点を補い、発行者と読者が繋がるコミュニティサイトを目指す～
- 2018.01.15 新サービス「ビジ助」、1月15日(月)から提供開始 ビジネスで役立つサービスを総合提供して顧客との関係構築を図る

各リリースの文章は下記のURLより、ご参照ください。
<https://www.startiaholdings.com/media/press-release>

その他: 連結貸借対照表

(単位: 千円)

資産の部		2017.3	2018.3
科目			
流動資産		4,498,553	6,064,148
	現金及び預金	2,221,131	3,718,830
	受取手形及び売掛金	1,772,181	1,684,534
	原材料	89,110	104,157
	営業投資有価証券	188,637	185,603
	繰延税金資産	82,360	136,290
	その他	224,428	306,817
	貸倒引当金	△79,297	△72,084
固定資産		1,396,362	1,789,628
	有形固定資産	108,498	99,580
	無形固定資産	531,025	398,928
	ソフトウェア	364,847	285,319
	のれん	165,064	112,495
	その他	1,113	1,113
	投資その他の資産	756,838	1,291,119
資産合計		5,894,915	7,853,777

負債の部		2017.3	2018.3
科目			
流動負債		1,712,314	2,388,290
	買掛金	681,653	766,245
	1年内返済予定の長期借入金	346,413	400,004
	未払法人税等	48,986	247,129
	賞与引当金	192,319	211,701
	その他	442,942	763,210
固定負債		211,645	600,313
	長期借入金	200,196	466,696
	その他	11,449	133,617
負債合計		1,923,959	2,988,604
純資産の部			
株主資本		3,932,671	4,455,242
	資本金	824,315	824,315
	資本剰余金	926,896	926,896
	利益剰余金	2,268,805	2,791,416
	自己株式	△87,346	△87,386
その他の包括利益累計額		37,563	375,285
新株予約権		720	—
非支配株主持分		—	34,645
純資産合計		3,970,956	4,865,173
負債純資産合計		5,894,915	7,853,777

その他：連結損益計算書

(単位：千円)

項目	2017.3	2018.3	増減額	増減率
I 売上高	10,282,411	11,058,642	+776,231	+7.5%
II 売上原価	5,745,589	6,144,396	+398,806	+6.9%
売上総利益	4,536,821	4,914,246	+377,424	+8.3%
III 販売及び一般管理費	4,271,431	4,555,728	+284,297	+6.7%
営業利益	265,390	358,517	+93,126	+35.1%
IV 営業外収益	37,543	34,461	▲3,082	▲8.2%
V 営業外費用	17,315	16,308	▲1,006	▲5.8%
経常利益	285,619	376,670	+91,051	+31.9%
VI 特別利益	184,698	404,305	+219,607	+118.9%
VII 特別損失	287,988	14,773	▲273,215	▲94.9%
税金等調整前当期純利益	182,329	766,203	+583,873	+320.2%
VIII 法人税等	174,038	169,422	▲4,616	▲2.7%
当期純利益	8,291	596,781	+588,489	+7097.5%
IX 非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	2,378	▲16,741	▲19,120	▲803.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,912	613,523	+607,610	—%

デジタルマーケティング事業および
ITインフラ事業は安定成長を継続

将来の成長に向けた新規事業への投資を実行

グループ全体の情報インフラの強化
新たな収益源の発掘

2019年3月期見通し(グループ会社別 事業戦略①)

スターティア (ITインフラ事業)

- ・ カスタマーFirst体制の更なる充実とそれをベースにした顧客満足度の向上による売上の拡大
- ・ ビジ助のサービス拡充による、ストック収益の増加
- ・ 情報システム拡充による営業力の強化

スターティアラボ (デジタルマーケティング事業)

- ・ COCOAR :
消費者を多く持つ企業への販売促進。
AR×キャラクター×リアルゲームの取り組みを強化し、
COCOARのアクティブユーザー数を増加
- ・ BowNow (MAツール) :
フリーミアム戦略の継続により、
BtoB中小企業におけるシェア拡大

2019年3月期見通し(グループ会社別 事業戦略②)

スターティアレイズ (クラウドストレージ・ RPA事業)

- ・セキュアSAMBA :
テレワーク導入検討企業へ情報セキュリティ対策を切り口に「いつでも・どこでも」働ける環境の提供に注力。また、データ管理をプラットフォームとしたアライアンスを加速させていく
- ・ RPA :
中堅中小企業向けに最適なツール選択と導入の支援を行い、様々なビジネスアプリケーションツールとの連携を実現し、国内中堅中小RPAマーケットを開拓していく

Startia Asia (海外事業)

- ・ 上海スターティアを核とする中国3子会社のマネジメント体制の確立
- ・ 日中間高速回線サービス「Global Gateway」は、訪中日本人向けサービスが好調維持
- ・ 東南アジアを中心としたVC事業による新規ビジネスシーズの取り込みを狙う

2019年3月期見通し(連結業績予想)

既存の主力事業は安定成長を継続。過去最高のトップラインを目指す。
前期に計上した繰延税金資産および投資有価証券の売却益による反動により、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅な減益を見込む

(単位:百万円)

	2018年3月期実績	2019年3月期予想	
	累計	累計	前期比(%)
売上高	11,058	12,160	+10.0%
営業利益	358	325	-9.3%
経常利益	376	325	-13.7%
親会社株主に帰属する純利益	613	178	-71.0%

2019年3月期見通し(グループ会社別 業績予想)

将来の成長に向けた新規事業(スターティアレイズおよびStartia Asia)への投資を実行。前期利益を下回る見込みであるが、主力事業であるITインフラ事業およびデジタルマーケティング事業は、堅調に推移することを見込んでいる。

(単位:百万円)

	2019年3月期予想						
	連結	スターティアグループ		スターティアラボグループ		スターティアレイズ	Startia Asia (海外事業)
		2019年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2018年3月期		
売上	12,160	9,446	8,824	2,128	1,858	411	166
売上総利益	5,466	3,828	3,629	1,351	1,110	165	122
営業利益	325	171	—	108	—	-98	-20

※各事業会社の業績予想数値には、グループ間の内部取引を含んでおります。

質 疑 応 答



スターティアホールディングス株式会社 IR窓口

〒163-0919東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階

TEL 03-5339-2109(平日9時~18時) MAIL ir@startiaholdings.com

スターティアホールディングスIR情報ホームページ <https://www.startiaholdings.com/ir.html>

参考資料

スターティアホールディングス株式会社
(東証一部 3393)

・経営指標等推移	…P3
・沿革	…P4
・会社概要	…P5
・グループ会社紹介	…P6
・事業領域(デジタルマーケティング関連事業)	…P7
・デジタルマーケティング関連事業とは	…P8
・事業戦略(デジタルマーケティング関連事業)	…P9
・「Cloud Circus」とは	…P11
・事業領域(ITインフラ関連事業)	…P12
・事業戦略(ITインフラ関連事業)	…P13

		2015年3月期（連結）	2016年3月期（連結）	2017年3月期（連結）
売上高	（千円）	8,682,336	10,171,029	10,282,411
経常利益	（千円）	878,359	544,653	285,619
当期純利益又は当期純損失	（千円）	592,683	253,046	5,912
資本金	（千円）	824,315	824,315	824,315
発行済株式数	（株）	10,240,400	10,240,400	10,240,400
純資産額	（千円）	3,977,505	4,088,681	3,970,956
総資産額	（千円）	5,662,248	6,529,117	5,894,915
1株当たり純資産額	（円）	389.90	400.57	393.04
1株当たり当期純利益	（円）	58.09	24.82	0.58
自己資本比率	（％）	70.2	62.6	67.4
自己資本利益率	（％）	15.9	6.3	0.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	768,840	366,738	155,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	△595,933	△762,919	△165,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	（千円）	△82,119	705,957	△403,352
現金及び現金同等物の期末残高	（千円）	2,335,276	2,620,183	2,199,926

年月	変遷の内容
平成8年2月	有限会社テレコムネットを設立（埼玉県所沢市山口3丁目2番）
平成16年2月	商号をスターティア株式会社に変更
平成17年12月	東京証券取引所マザーズ上場
平成18年6月	電子ブック作成ソフト「Digit@Link ActiBook（デジタルリンク アクティブック）」の提供開始
平成21年4月	スターティアラボ株式会社（現連結子会社）を設立
平成21年5月	株式会社MACオフィス（現持分法適用関連会社）の株式を取得
平成23年10月	西安思達典雅軟件有限公司（英文名称：STARTIASOFT INC.）（現持分法適用関連会社）を設立 （西安世維軟件有限公司との合併会社）
平成24年1月	株式会社アーバンプラン（現持分法適用関連会社）の株式を取得
平成24年11月	ARコンテンツ作成サービス「ActiBook AR COCOAR（アクティブック エーアール ココアル）」 の提供開始
平成25年1月	上海思達典雅信息系統有限公司（英文名称：STARTIA SHANGHAI INC.）（現連結子会社）を設立
平成25年7月	日中間の高速インターネット VPN サービス「Global Gateway（グローバルゲートウェイ）」の提供開始
平成26年2月	東京証券取引所市場第一部上場
平成26年10月	株式会社クロスチェック（現持分法適用関連会社）を設立
平成27年10月	株式会社エヌオーエス（現連結子会社）の株式を取得
平成28年7月	ビーシーメディア株式会社（現連結子会社）の株式を取得



最先端を、人間らしく。

東京証券取引所 市場第一部 (証券コード3393)

設立1996年2月21日

資本金824,315千円 (2017.3.31現在)

従業員数連結：602名 (2017.3.31現在)



📍本社

〒163-0919

東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19F

TEL:03-5339-2101 FAX:03-5339-2102

連結子会社

スターティア株式会社(東京都)
 スターティアラボ株式会社(東京都)
 スターティアレイズ株式会社(東京都)
 Startia Asia Pte.Ltd.(シンガポール)
 スターティアウィル株式会社(千葉県)
 Worktus株式会社(東京都)
 ビーシーメディア株式会社(大阪府)
 株式会社エヌオーエス(鹿児島県)
 Mtame株式会社(東京都)
 上海思達典雅信息系统有限公司(上海)
 台湾思達典雅股份有限公司(台北)
 上海巨现智能科技有限公司(上海)

持分法適用関連会社

株式会社MACオフィス(東京都)
 株式会社アーバンプラン(東京都)
 株式会社クロスチェック (東京都)
 西安思达典雅软件有限公司(西安)

事業内容 (グループ)

- ・ AR作成ソフト、電子ブック作成ソフトサービス
- ・ WEB制作、マーケティングオートメーションツール
- ・ SaaS型オンラインストレージサービス
- ・ マネージドネットワークサービス、システムインテグレーション、セキュリティ対策
- ・ モバイルソリューションの販売、企画、開発、提供
- ・ 通信システム機器販売、設計、施工、保守メンテナンス
- ・ OA機器販売、設計、施工、保守メンテナンス
- ・ コーポレートベンチャーキャピタル
- ・ オフィスファシリティのソリューションサービス

連結子会社

スターティア株式会社



システムインテグレーション・セキュリティ対策、通信システム
機器販売・設計・施工・保守メンテナンス、OA機器販売・設
計・施工・保守メンテナンス

スターティアラボ株式会社



Webサイトの企画・制作・コンサルティング・運営・保守電子
ブック作成ソフトActiBookを中心としたWebアプリケーション
の企画・開発・販売・保守

スターティアレイズ株式会社



クラウドストレージサービス・RPA（Robotic Process
Automation）関連事業

Startia Asia Pte.Ltd.



アジア地域の事業統括及び投資事業

スターティアウィル株式会社



スターティアグループの業務請負・障がい者雇用のコンサルティ
ングなど

Worktus株式会社

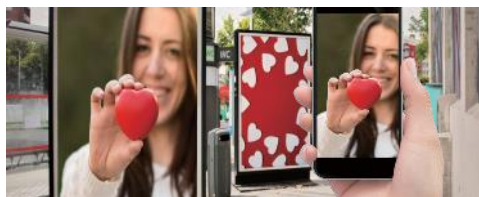


IT+日本語人材の育成

デジタルマーケティング関連事業

ミッションは情報の利益化。

電子ブック作成ソフトやCMSをはじめとしたWebアプリケーションの販売と、Webに関する受託制作・開発アクセスアップコンサルティング等の事業を展開しています。お客様の社内に眠っている情報をITサービスで最適化させ会社の利益を上げる支援を行い“情報の利益化”を提供します。



AR作成ソフト

AR（拡張現実）を作り放題。

商品パッケージにスマートフォンをかざすとキャラクターが表示されたりします。地域活性化イベントにも活用されております。



電子ブック作成ソフト

電子ブックを簡単作成

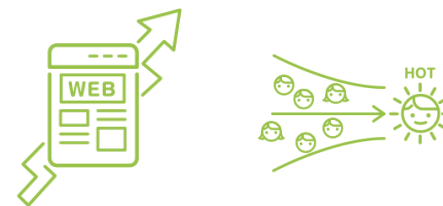
雑誌、会社案内、商品案内を電子化。スマートフォンでも閲覧できるようになります。



アプリ作成ソフト

店舗などの販促アプリの作成

お店のアプリを開設して、イベントキャンペーンで集客が行えるように。



Web制作&CMS

マーケティング オートメーションツール

ホームページ作成から、簡単にホームページの運用や分析、メール配信が可能に。



※スターティアラボはGoogleのPremier Partnerバッジを取得する代理店です。

企業が持つ情報をITサービスで最適化し、利益を上げる支援を行う。

デジタルマーケティング関連事業は、連結子会社であるスターティアラボ株式会社（以下 スターティアラボ）が担っています。スターティアラボでは、「情報の利益化」をミッションに掲げています。

インターネットの普及に伴い流通する情報量が加速度的に増加する中、ビジネスにおいては信頼性が重要となるため、情報を受け取るだけでなく、発信することが重要となってきています。しかし情報が氾濫する昨今では、価値ある情報を提供することが重要となりますが、求められる情報を発信するということは簡単ではありません。

そうした中、スターティアラボでは「人」と「ログ」に着目し、情報を消費する過程で蓄積されるログデータ（行動履歴）を読み取り、それをヒントに人の頭で思考し、価値ある情報を精査。それをWebアプリケーションなど最適なかたちを通じて発信し、コンサルティングの力で成果へと導く活動を行っております。

1社でも多くの企業に自社の強みを気づいて頂き、その企業の力を100%発揮する環境を整えること。
それが、スターティアラボが掲げる「情報の利益化」というミッションです。

（参考）デジタルマーケティングとは

マーケティングという枠組みの中に、展示会や商談などのアウトバウンドな活動とリスティング広告やオウンドメディアといったWEBマーケティングが存在しています。（右図ご参照）

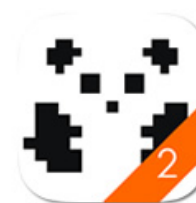
デジタルマーケティングは、WEBマーケティングとアウトバウンドマーケティングをつなぐ位置づけにあり、つまりオンライン・オフラインをまたいだマーケティング活動を指します。



主軸であるAR作成ソフト「COCOAR」は、アーリーマジョリティ層への拡販を強化

前期は、アーリーアダプター層と呼ばれる新規性が強いサービスに対する投資意欲が旺盛なお客様に対する販売が一旦は落ち着き、アーリーマジョリティ層と呼ばれる製品の費用対効果をより慎重に検討するお客様への事業展開を行いました、足踏みしている状況でした。

その為、今期からは、アーリーマジョリティ層に対して、一部機能を抑えた廉価版プランの提供やCOCOARの販売パートナー企業に対する新たなプランの提供を開始し、サービスの拡販を進めております。



ARアプリ
「COCOAR2」

全国各地で活用されるCOCOAR

COCOAR導入事例1,267社

アプリのダウンロード数128万突破。

官公庁から学校まで、幅広い業種にご利用頂いております。

印刷関連	667社
出版関連	447社
Web・広告システム会社	403社
小売・卸売製造メーカー	637社
その他	368社

※ 2016年12月時点の情報です。

多彩な業種で
導入が進む
COCOAR



各商材のフリープランを提供し、顧客のマーケティング活動を複合的に支援

デジタルマーケティング関連事業では、スターティアラボが提供するAR作成ソフト「COCOAR」やマーケティングオートメーションツール「BowNow」といったソフトウェアを複合的に活用することで、BtoB企業の複雑な商流と検討フェーズを可視化し、オンラインの施策とオフライン営業施策（展示会、営業商談など）も含めたすべての営業活動を繋ぎ、ボトルネックを解消しながら企業のマーケティング活動を支援いたします。

デジタルマーケティング関連事業が提供するこうした各ソフトウェアの製品群を「Cloud Circus」（クラウドサーカス）と呼んでいます。各ソフトウェアの総導入実績は累計4,672社以上に及びますが、更に多くの企業への導入を促進するために、今期より各ソフトウェアのフリープランの提供を開始いたしました。

これは製品の導入の敷居を下げることで、多くの企業に各製品を導入して頂き、より高度な機能を望むお客様には有料の高機能版への移行やその他のプロダクトのご導入を目的としたもので、将来の安定的な利益拡大を見込んだ取り組みです。



COCOAR



ActiBook



ActiBook Docs



CMS
Blue Monkey



Knowus



Plusdb



BowNow

スターティアラボが提供する主なソフトウェア

BtoBマーケティングをサポートする、デジタルマーケティングプラットフォーム「Cloud Circus」

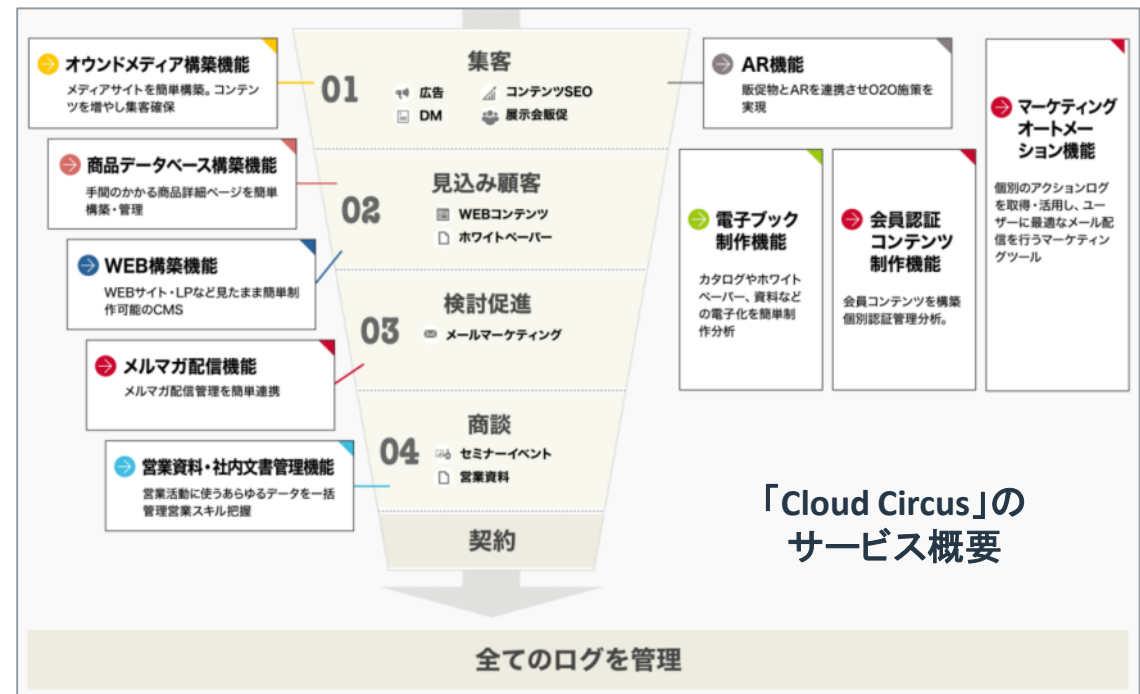
BtoBのデジタルマーケティングはこれ1つで



「Cloud Circus」は、スターティアラボがこれまで提供してきたマーケティングツールをすべてご利用いただけるサービスです。

BtoB企業の複雑な商流と検討フェーズを可視化し、オンラインの施策とオフライン営業施策（展示会、営業商談など）も含めたすべての営業活動を繋ぎ、ボトルネックを解消しながら売上の最大化を目指すシステムです。

各マーケティングツールの総導入実績は累計4,672社以上に及びます。



「Cloud Circus」の
サービス概要

ITインフラ関連事業

企業の「情報システム部門」を請け負う存在に。

情報システム部門の負担が高まっている中規模企業のお客様には、「ネットワークインフラの進化」と「担当者のITスキル」のギャップを埋めるようなソリューションを提供します。ITサービスが普及し、ITデバイスの選定に課題を抱えている小規模企業のお客様には、ワンストップで迅速にサービスを提供します。



オフィスデザイン

オフィスデザインの設計、移転、内装工事やオフィス用品販売



ビジネスフォン

オフィスオートメーション機器・通信回線の販売



複合機



回線



保守サポート

ネットワーク機器のレンタル・販売と保守・管理・復旧サポート、サーバ構築から運用保守まで一貫したSIサービスおよび機器メンテナンス、保守サポート

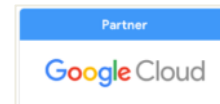


ネットワーク構築



クラウドインテグレーション

スターティアは毎クール、各局多数の連続ドラマにコピー複合機やビジネスフォンを美術協力し、ビジネスシーンでの演出小道具としてサポートしています。



※スターティアはAWS (Amazon Web Services)、GCP (Google Cloud Platform) の公式パートナーです。

リカーリングモデルの推進による継続的な収益モデルの構築

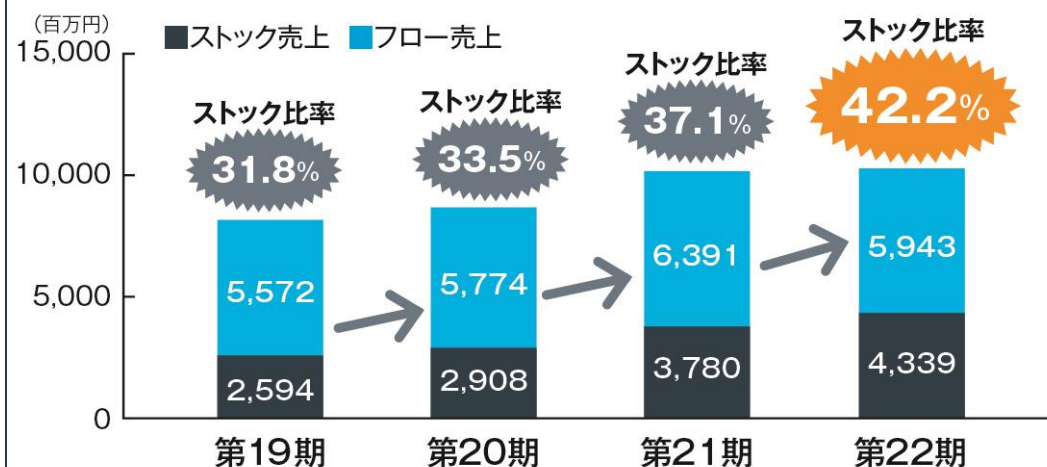
大手SI企業が参入しづらい中堅・中小企業に特化し、細やかな対応を行う専任担当性で差別化を図る

スターティア株式会社は従業員数300名未満の中堅・中小企業をメインターゲットに、事業の展開を行っております。総務省の資料によると従業員数300名未満の事業所数は全国で550万社と言われており、大手SI企業などが参入しづらい本客層をメインターゲットに、クラウドサービスおよびネットワーク環境の構築、OA機器の提供を行い、企業の業務効率の向上を支援しています。他社大手SI企業が参入しづらい背景として、本規模の事業者では、各お客様ごとに細やかな対応や課題の組み上げが必要となることがあげられます。当社では、お客様ごとに専任の担当者が付く「カスタマー1st」体制を実施し、お客様の課題にあったサービスをトータルで提供しております。

ストック型サービスへの注力による安定的な収益モデル

継続的かつ安定的に収益を得られる様、フロー商材と言われる売り切り型の商材ではなく、ストック型商材への転換を数年前より進めております。現在、ストック型商材による売上比率は40%を超え、安定した収益を実現しております。引き続き、安定した顧客基盤から継続的に収益を構築できる「リカーリングモデル」の推進を行ってまいります。ストック型商材による売上比率は右の図をご参照ください。

ストック&フロー売上の推移





スターティアホールディングス株式会社IR窓口
〒163-0919 東京都新宿区西新宿2-3-1新宿モノリス19階
TEL 03-5339-2109（平日9時～18時）MAIL ir@startiaholdings.com
スターティアIR情報ホームページ<https://www.startiaholdings.com/ir.html>